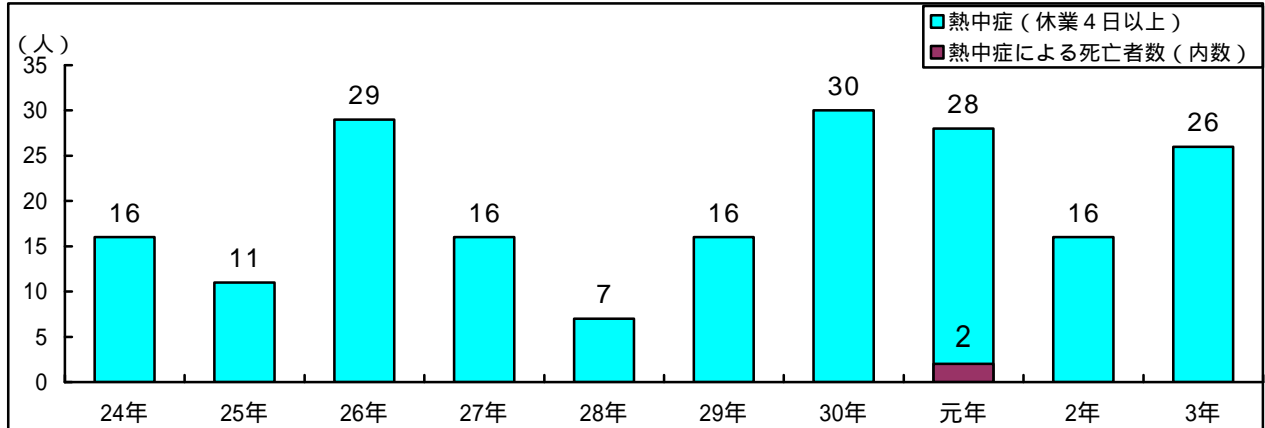


# 新潟県内における熱中症による死傷災害

新潟労働局

## 1 熱中症による死傷者数の推移

過去 10 年間の新潟県内の熱中症による死傷者数の推移



## 2 月別発生状況 (平成 29 ~ 令和 3 年分)

例年 7・8 月に多く発生している。また、初夏 (6 月) や残暑 (9 月) 時期の発生もみられる。

月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	計
平成 29 年	0	1	9	6	0	0	16
平成 30 年	1	3	15	11	0	0	30
令和元年	0	1	7	18	1	1	28
令和 2 年	0	3	1	10	2	0	16
令和 3 年	1	1	8	16	0	0	26
計	2	9	40	61	3	1	116

## 3 業種別発生状況 (平成 29 ~ 令和 3 年分)

業種別では屋外型産業である建設業が一番多く発生している。また、製造業やその他業種 (第三次産業) においても多く発生しており、警備業では死亡者が出るなど、様々な業種で発生している。

業種	建設業	運輸交通業	警備業	製造業	その他	計
平成 29 年	5	3	0	6	2	16
平成 30 年	12	1	1	7	9	30
令和元年	6	1	3	8	10	28
令和 2 年	5	2	0	4	5	16
令和 3 年	7	2	5	6	6	26
計	35	9	9	31	32	116

(備考) 労働者死傷病報告 (休業 4 日以上) による集計。○内の数字は死亡者数で内数。